

日本文藝研究

第五十七巻 第一号

季 刊

『醒睡笑』巻之一「ふはとのる」に見られる 安楽庵策伝の編集意識と創作意識……西浦和稔……1	「笑い」と人物関係を通じて――	『鎌倉三代記』の構想と趣向……石田賢司……21	――紀海音独創時代の出発点――	十九世紀国学者における志筑忠雄訳 『鎖国論』の受容と平田国学……大島明秀……39	谷崎潤一郎『刺青』に 込められた「兄」の思い……藤原智子……64	――異端者の悲しみ『削除箇所及び「妹」と「娘」(刺青)の造型について――	森鷗外『金毘羅』論……出光公治……97	――「性命」をめぐる物語として――	谷崎潤一郎『母を恋ふる記』論……中野登志美……117	――「夢」を用いた手法からの試論――	語レベルにおける音声文法の構想……宋欣……1
--	-----------------	-------------------------	-----------------	---	-------------------------------------	--------------------------------------	---------------------	-------------------	----------------------------	--------------------	------------------------

関西学院大学日本文学会

前 号 目 次

武久堅教授の御退任記念号に寄す……………細川正義

延慶本平家物語の、「孤子」への関心とその意味するもの……………武久堅……………1

『発心集』の説話配列と長明の浄土思想……………池田敬子……………19

巴の変貌……………源健一郎……………37

——大力伝承の共鳴——

乳母子伊賀平内左衛門家長……………辻本恭子……………69

——理想化された知盛の死——

『平家族伝抄』「へ十五」十一卷分 神璽寶劔内侍所夏……………山中美佳……………89

の蟻通明神……………

——増補記事に見る吉田神道系三十番神思想をめぐって——

長門本平家物語の藤原成経の独自記事について……………山口安世……………107

——第六「丹波少将康頼入道上洛事」を中心に——

藤原光頼……………宮川裕隆……………123

——軍記物語の「有職の人」——

建礼門院右京大夫の西行歌撰取……………松村洋二郎……………133

延慶本平家物語の行家……………平城三矢子……………165

——頼朝・義仲・義経との関係をめぐって——

武久堅教授・略歴と業績……………193

編集後記

▼昨年に続き、本年度も新たに北村昌幸専任講師をお迎えした。中世文学を専門とする新進気鋭の研究者である。ご活躍を期待する。▼本年度の第一号は、いずれも若手の研究者の論考で、七編を掲載する。それぞれの扱う対象・領域は異なっているが、問題となる事柄について、いかにあり、なぜそうあるのか、ということが問われているはずである。▼会員諸氏の益々の研鑽をお願いし、毎号力作をお寄せいただきたい。

(小倉)

投稿・執筆について

- 一、執筆資格をもつものは、日本文学会会員、『日本文藝研究』購読会員の他、編集委員会が認めたものとする。
- 二、原稿内容は日本文学および日本語を主な対象とし、未公刊のものにかぎる。
- 三、研究論文は四百字詰め原稿用紙換算で三十五枚を目安とする。研究論文以外の原稿については編集委員会に問い合わせること。
- 四、投稿は随時受け付ける。
- 五、原稿の採否は、編集委員会が決定する。
- 六、本誌に掲載された論文などの著作権は著者に帰属するものとする。ただし、関西学院大学日本文学会は、本誌に掲載された原稿を電子化または複製の形態などで公開する権利を有するものとする。

二〇〇二年十月

関西学院大学日本文学会

二〇〇五年六月五日 印刷

二〇〇五年六月十日 発行

定価八〇〇円

日本文藝研究 第五十七巻第一号

〒六六二八〇一

西宮市上ヶ原一番町

関西学院大学日本文学会

(〇七九八)五四一六二八(直通)

編集兼 発行者 細川 正義

発行所 日本文学会

〒六一五〇〇五 京都市右京区西院清水町二三

印刷所 協和印刷株式会社

TEL (〇七五)三二四〇一〇
FAX (〇七五)三二四〇一一

注文規定

御注文は前金にて関西学院大学日本文学会へ御願いたします。振替を御利用ください。(振替〇二五〇一七六〇五八五 一年分(送料共)三、〇〇〇円)